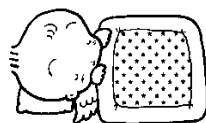


子育て支援情報紙

えんぜる

第308号

令和6年 1月 1日
足寄町教育委員会
Tel. 0156-25-3188



足寄町教育委員会ホームページ [【www.town.ashoro.hokkaido.jp/kyoiku-iinkai/】](http://www.town.ashoro.hokkaido.jp/kyoiku-iinkai/)

1月

子育て支援カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
つどいの広場 ⇒ 子どもセンターで、毎週：月・火・木・金9:30~11:30 事前予約不要、詳細は Tel.25-4415まで 児童館 ⇒ 毎（火）（水）（木）10:00~11:50 開放 詳細はTel.25-7575まで ひよこクラブ ⇒ 詳細は Tel.25-4415まで						
	1 元 旦	2	3	4	5	6
7 足寄町はたちのつどい	8 成人の日	9 えんぜる編集会議 11:00~ 町民センター	10	11 書初め大会 町民センター 多目的ホール	12	13
14	15	16 「すくすく」 10:10~11:50 町民センター	17	18	19	20
21	22	23 リサイクルの日 10:00~11:15 町民センター	24 ひよこクラブ	25	26	27 絵本の会「はらっぱ」 11:00~11:30 対象者：どなたでも
28	29	30 乳幼児相談 (フリー) 13:00~14:30	31			

紙 面

- ・二面：保護者の目線で情報『新年のご挨拶』
- ・三面：子育てエッセイ・休憩室・ひよこクラブたより
- ・四面：お勧めの本 『おもちゃのきもち』『いちばんしあわせなおくりもの』
- ・編集後記

☆ 子育て支援・学習と交流の会「すくすく」のご案内

第9回 1月16日（火）の「すくすく」は、『動きある軽い運動』を町民センターで行います。
 講師は、健康運動指導士 小林永枝さんです。運動靴やタオル、飲み物は必需品です。
 会員以外で参加を希望される方は、足寄町教育委員会生涯学習担当の福原又は青木まで、
 お電話でお申し込みください。 *Tel：25-3188 ※当日は、託児も行います。



新年のご挨拶を申し上げます



足寄町教育委員会

教育長 東海林弘哉

『年頭に当たってのご挨拶』

令和六年になりました。改めまして新年明けましておめでとうございます。

日頃より足寄町教育委員会の各種事業にご理解とご協力をいただいておりますこと、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年は異常な気候変動や世界的な不安定情勢等、世界中の人々が『命の尊さ』について学んでいた年ではなかったかと思えます。令和六年は、世界中の人々が「生きる力とは何か」しっかりと考え、地球全体が『平和の光が灯る』年になってくれることを切に願っております。

そんな中、教育委員会では「安心・安全」で健やかな子育てができるように、様々な事業を万全な体制を取りながら行っております。特に、子育て関係では、子育て支援・学習と交流の会『すくすく』の事業を主軸に、子どもの健やかな成長とお母さん方の心の和みをお願い、お母さん方が中心となって活動しております。また、子育て支援「リサイクルの日」や情報紙「えんせる」の活動については、子育て中のお母さん方のボランティアスタッフに支えられながら、子育ての不安を少しでも解消してもらえらるよう、日々努力していく所存でもあります。

今年もこれからの諸事業を工夫し、改善してまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

足寄町認定こども園たんぽぽ

園長 富澤亜希子

『新年のご挨拶』

新年 明けましておめでとうございます。

日頃より、認定こども園たんぽぽの運営にご理解とご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

昨年は「コロナ感染症の5類移行により、こども園の行事も四年ぶりに通常開催となりました。日常生活が戻ったことで、そのありがたみを改めて実感しておりますが、世界では子どもたちが犠牲になる紛争や不安定な世界情勢など、心痛む日常生活もあります。たんぽぽの子どもたちの元気いっぱいな笑顔を見ることが、令和六年度は多くの人々が穏やかに笑顔で過ごせるよう切に願うばかりです。

さて、こども園たんぽぽでは「5歳の子どもたちと保育士が、日々生活を積み重ね楽しく遊んでいます。加えて、昨年から就園前の親子にも広くこども園を知ってもらおうと、園開放や体験保育なども開催いたしました。乳幼児期に子どもが安心できる環境で主体的に活動し、様々な体験をすることは、自己肯定感を育み生かす力となり、強い土台を作ります。保護者の皆様、多くの関係機関の協力を得ながら、地域の皆様と子どもたちの成長を喜び合える、そんなこども園を目指し、質の高い保育を提供できるよう努めてまいります。

本年も、こども園での毎日が子どもだけでなく、保護者をはじめ地域の皆様に笑顔と元気を届けられるよう、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

「えんせる」編集局

代表 安原紗奈恵

『新年のご挨拶』

あけましておめでとうございます。

いつも子育て支援情報紙「えんせる」を読んでいた方がありがとうございます。

昨年、「えんせる」は300号を迎えることができました。編集委員一同、うれしい気持ちでいっぱいです。これからも創刊当時の先輩編集委員の方々の意思を受け継ぎながら頑張っていこうと思います。

現在、えんせる編集委員は6名でやっています。毎日、子育て、仕事、家事をこなしながら、月一回の編集会議には足寄町での子育てが楽しくなるようなアイデアを持ち寄って、話し合い、発行しています。

今年も、子育て中のお父さんやお母さん方にとって心強い支えになるように、子育てにお役に立つ情報を発信していきたいと思っています。

そんな私たちと一緒に「えんせる」編集委員をやってみたいと思っただけの方がおりましたら、編集委員または、生涯学習室までお問い合わせください。

みなさんにとって笑顔あふれる一年になりますよう願っております。

編集委員一同、本年もよろしくお願いたします。

子育てエッセイ

『記録と共に記憶を』

性教育と聞くと二次性徴のことを思い浮かべることが多いと思いますが、本当の意味の性教育を知っていますか？子どもが成長してからはなく、命を宿したその瞬間から「大好き」「大事だよ」を伝え、生まれてから肌感覚として触れ合うことも性教育に含まれると学んだことがあります。タブー視されがちですが、知識として知り、日々の中で活かすことが親子の関係性を「育む」ことでもあるのかなと感じています。

ある日の我が家の夕食の話題は「どんな乳幼児期だったか？」でした。子ども自身の記憶にはないものをギフトできるのは、そばで見守ってきた人しか伝えることができません。子どもたちは私が伝えるエピソードに「へー」「そっなの？」と嬉しそうでした。

気軽に記録ができる時代になりましたが、感覚に記憶を残す、自分の記憶を思い出す、そしてさらに私の子ども時代の記憶を両親に聞く、そんな2024年の始まりにしたいと思っています。

休憩室

『雫のアイスクャンドル』

☆いつもはレシピコーナーですが、今回は『雫のアイスクャンドル』をご紹介します☆
寒い足寄ならではの!!バケツで作った事がある方は多いかと思いますが、風船で作ると可愛い雫型に!!是非お子さんと作ってみてください!!



【用意するもの】

風船・ひも・ローソクや 100 均の小さなライト等

【作り方】

- ①風船に水を入れて、空気を抜いてから、くちを縛ります。
- ②縛り口に紐を結びつけ、一晩外で吊るします。
- ③固まったら風船のくちを切ると、つるんと剥けて完成!!

外側から凍るので、少し割って真ん中の水を抜けば、そこにローソクや 100 均のライト等を入れる事が出来ます！固まり具合は気温によるので色々試してみてくださいね☆

ひよこクラブだよ

新年明けましておめでとうございます。

昨年度は、たくさんのママ達が参加してくださり、毎回楽しかった！という声をいただき、役員みんなで喜んでおりました(^)

昔、足寄のママ数名が立ち上げたサークル活動をこうして続けていけるのは、参加して下さる皆さん、ボランティアで関わって下さる皆さん、関係機関のみなさん、そして役員の皆さんのおかげです。ひよこクラブを温かく見守ってくださり、協力して下さりありがとうございます！今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年は辰年ということで、活力旺盛になって大きく成長した方が整う年だそうです。昨年はコロナ明けでの活動だったため、手探りでやってきた1年でしたが、今年度は昨年の成果を引き継ぎ、更に精力的に活動をしていきたいと思っています！

ひよこクラブの活動も残り3回となりましたが、まだまだ楽しいイベントを企画しています。是非たくさんのご参加をお待ちしています♪

私の見つけたお勧めの『本』

『おもちのきもち』

作・絵：かがくい ひろし 発行：講談社

さて、皆さんはお正月に食べられるお餅の気持ちを想像したことがありますか？この絵本は、ペタンペタン頭を叩かれたり、ちぎられたりして、いつ人間に食べられるかと恐ろしくなった鏡餅が、なんと！逃げ出してしまうお話です。お餅らしくピローンと伸びる手足で走った末に・・・「マジか?!この発想は無かった!」と思わず口にした私。最後のページのみんなの笑顔にも、心がほっこりしますよ。

お餅の特徴をおもしろおかしく表現したこの絵本は、お正月の初笑いにもってこいの一冊です。



『いちばんしあわせな おくりもの』

作・絵：宮野聡子 出版社：教育画劇ジャンル

こりすは くまくんのことが だいすき。

こりすは くまくんに おくりものをしたいけれど…

一体こりすは、くまくんにどんな贈り物をするのでしょうか？

お子さんと一緒に考えながら読んでみてはいかがでしょう。

目に見えるものが全てではない、ということをそっと教えてくれる優しい気持ちになれる絵本です。



編集後記

新年明けましておめでとございませう。

図書館開館5周年記念として昨年十一月に開催された、朗読とマリンバで綴る「宮沢賢治の世界」を聴きに、小学校高学年の息子と行って来ました。来場者のほとんどが大人の方で、息子には難しい内容かも。連れて来て失敗だったかな。と、内心ハラハラしながら開演を迎えました。プロのアナウンサーの朗読は、グイグイと物語の中に引き込まれて、風景が目に見えかぶようでした。そして絶妙な抑揚と間の取り方、登場人物の演じ分けなど、流石だなあと終始感動していました。その朗読に、マリンバの優しく心地よく時に激しい音色がぴたりと合っていて、さらに世界観を深めてくれました。物語だけではなく、作られた背景を知ること、作品の新たな側面を知る事も出来ました。背景の部分は思想とか科学とか奥が深すぎて私にも理解が追いつかない部分がありました。隣に座る息子の顔を見たら、興味深そうに聞いているじゃありませんか！むしろ帰りの車で彼に解説してもらったぐらいです。(笑)朗読や読み聞かせに年齢など関係ないのだな、と実感させられました。

100年前の宮沢賢治が伝えたかった「本当の幸い」とは、大河ドラマ「どうする家康」で家康が目指した、「戦なき世」とは。今の時代に生きる私たちに、先人たちが伝えたかった事とは何か。そんな事を考えて、新しい年も平和でありますようにと切に願うのでした。

(編集委員 Y・M)